

## 平成 29 年度第 2 回緑区支え合いのまち推進協議会議事要旨

### 【開 催】

開催日時 平成 29 年 9 月 9 日（土）14：00～16：00

開催場所 緑保健福祉センター2階 大会議室

出席者 委員 26 名中 24 名出席、ガイドヘルパー1名  
千葉市保健福祉局地域福祉課 2 名、  
事務局 7 名（緑保健福祉センター長、高齢障害支援課 2 人、  
社協緑区事務所 4 名）

### 【次 第】

- 1 開 会
- 2 議 題
  - (1) 第 4 期 緑区支え合いのまち推進計画について
  - (2) 広報誌「みどりのきずな第 3 2 号」の承認について
- 3 依頼・報告
  - (1) 市民説明会のお知らせ等について【地域福祉課】
- 4 その他
- 5 閉 会

### 【議事及び質疑要旨】

#### 議題（1）第 4 期 緑区支え合いのまち推進計画について

（事務局） 資料 5 「緑区支え合いのまち推進計画（平成 30～32 年度）」（案）について、前回から大きく変わった点について説明。前回の案では《基本方針 2》施設情報の提供（居場所、安らぎ、学び）という項目があり、施策の方向性として「要支援者などへの支援」ということで、高齢者・障害者（児）・子どものいる世帯への情報提供がそれぞれ具体的な取り組みとしてあげられていたが、複数の委員より《基本方針 1》にも高齢者・障害者・子どもに関わる項目があるので、統合してはどうかという意見があった。この意見を踏まえ、《基本方針 1》に統合したうえで、文言整理をさせていただいた。

もう 1 つは、《基本方針 1》の施策の方向性に「6 生活環境の整備」という項目を加えた。

大きくは、この 2 点であるが、それ以外にも少し文言の追加・削除を行っている。

（岡本委員長） 資料 5 の網掛けしてある箇所が、前回から修正が加えられているところとのことである。何か質問や意見はあるか。

(茂田委員) 「26 見守り活動の推進」であるが、前半部分と網掛けの部分は違う内容のことを言っているように思われる。また、子ども会はない地区もある。子ども会と明示してしまうと子ども会がない地域はできないということになってしまうのではないか。

(岡本委員長) 子どもに関してのことは、項目を分けてもいいのではないか。

(事務局) 例えば「ボランティアに関すること」として、別途項目だてをすることは可能である。子ども会の表現については、検討させていただきたい。

(岡本委員長) この事務局の案を柱として、各地区での取組みテーマをこの後のワーキングの中で話し合っていたらいいと思っている。また、その時に意見等があれば出していただきたい。

この「緑区支え合いのまち推進計画（平成30～32年度）」（案）の内容については、委員長、副委員長、事務局に一任していただくということではよろしいか。

(全 員) 異議なし

(岡本委員長) それでは、この事務局の案に沿って進めさせていただく。

## 議題（2）広報誌「みどりのきずな第32号」の承認について

(岡本委員長) つづいて、広報誌「みどりのきずな第32号」の承認に入らせていただく。中村広報委員長から何か意見はあるか。

(中村委員) 土気地区の「ふれあい福祉フェスティバル」については、会場が最終決定しておらず、変更になる場合もある。発行日までには会場が決定するので、ご了承いただきたい。

「みどりのきずな」の内容について意見等あれば、9月15日（金）までに事務局に伝えていただきたい。

(岡本委員長) 内容については、承認いただけるか。

(全 員) 異議なし

(岡本委員長) ありがとうございます。

## 《依頼・報告》市民説明会のお知らせ等について【地域福祉課】

(岡本委員長) 緑区の計画案が出来ると、市民説明会を実施することになるが、そのことについて地域福祉課から説明をしていただく。

(黒木主査) 平成29年11月4日（土）14：00～市民のみなさんを対象に第4期計画の市民説明会を実施する。ぜひ、計画を推進している委員の方も都合をつけて参加いただくとありがたい。10月21日の中央区では計画の取りまとめをお願いしている淑徳大学の山下先生をお招きしてご講演もいただく予定である。ご都合がつくようでしたら、参加いただきたい。

(岡本委員長) 都合がつくようでしたら参加いただきたい。また、地区の他の方にも案内をお願いしたい。

市民説明会に向けて、各地区の重点目標をどのように決めていくかということ、このあとのワーキングで話し合っていたらいい。

## 《その他》

- (大塚委員) 児童・生徒への認知症サポーター養成講座の開催について質問させていただきたい。講習を受けるだけでなく、実際に活動していただくことが重要であると思うが、実際に活動をしている事例はあるか。
- また、子ども会等、現実的に動ける団体が講習を受けて、老人クラブ等とタイアップして認知症の方をサポートできるしくみができるといいと思う。
- (事務局) 認知症については、地域包括ケア推進課が担当である。
- 今年度は、全市的に小・中学校のある学年を対象に認知症サポーター養成講座の実施に取り組んでおり、緑区は中学校1年生が対象になっている。講座は、認知症の方の症状や対応方法を学ぶ内容になっている。実際に活動や老人クラブとのタイアップにまでは至ってはいないが、まずは認知症について学ぶことにより、日々の生活の中で活かせるようになっていけばと考えている。
- その他認知症については、徘徊高齢者 SOS ネットワーク、徘徊高齢者位置情報システム等の支援も実施している。
- (岡本委員長) 緑区は、中学校を中心に進めているとのことだが、小学校でも実施できる場所は実施している。また、地域でも希望があれば講座を開催してもらえる。
- (大塚委員) 子どもたちは、日々地元に着した形で過ごしている。また、高齢者の方も同様であるので、子どもたちが町中を遊びながら自然と見守りができる環境が整っていくといいと思う。
- 子ども会がどんどん無くなってきているが、町じゅうで子どもの居場所を作ってあげて、その子どもたちがいい形で町の中で役立つようになっていってほしい。
- (岡本委員長) 小・中学校の認知症の方に対する事例については、何かあれば後程教えていただければと思う。
- (大塚委員) また、夏休みになると子どもたちが自然と集まってラジオ体操を行っているが、高齢者の中にもそういう環境づくりが必要なのではないかと思う。
- (岡本委員長) ご意見として伺って、今後進めていければと思う。
- この計画の中にも防災に対する取り組みが入っているが、推進協として防災に視点をあてた取り組みが十分でなかったという思いがある。この9月に各地区で防災訓練を実施していると思うが、その様子を報告願いたい。
- (野崎委員) 土気地区には避難所運営委員会が15ある。今年は、千葉市のメイン会場が昭和の森公園であったので、付近の3委員会約50人が昭和の森で避難と避難訓練の誘導を行った。その他、排水栓を利用した消火訓練、弾道ミサイルを想定した避難訓練等が行われていた。
- (大槻委員) 自分もメイン会場の昭和の森に行っていたので、詳しい状況は分からないが、誉田地区は4小学校でそれぞれの避難訓練を行った。
- (篠原委員) おゆみ野地区は11の避難所運営委員会がある。自分はおゆみ野南中学校の訓練に従事していた。500人以上の参加希望があるが、今年はセーブして250人くらいに抑えた。おゆみ野南中学校は学校が新しく、水道

が止まってもプールから水が供給されるといった最新の作りになっている。

(松戸委員) おゆみ野地区のおゆみ野泉谷小・中学校区はモデル地区として行った。前年度まで自分が委員長を行っていたが、まだ後任者が決まらず、今回は委員長代理が取り仕切っていたが、順調に事を進めていて安心した。

(小山委員) 椎名地区では、全部の避難所の足並みを揃えようということで、4月から連協の会長会議で進めていた。古市場地区では、ペット同行避難訓練を実施してほしいという依頼があったが、マニュアルがなく、マニュアル作りに苦労した。また、相手が動物ということでそれも大変であった。

(岡本委員長) 自分も古市場地区に参加させていただいた。2匹の間は4メートル空けるといった細かい決まりがある。

(大塚委員) ペットを飼っている方の委員会があると一番いい。

(小山委員) 避難所運営委員でそういう班を作るようにはしている。

(大槻委員) 雨の時に外に出している動物をどうするかという問題もある。

(岡本委員長) 古市場での訓練を経てマニュアルが出来上がってくると一番いい。推進協だけでは、災害のことはできないので、連協との連携が大事だと思うがいかがか。

(大槻委員) 避難所のことは少し違うが、このたび日本財団から防犯パトロール用の車を寄付していただくことになり、緑区では2台になる。これを機会に小学校の下校時の防犯に立ち会い、また高齢者の見守り等にも利用していきたいと考えている。

(岡本委員長) お互いに連携していきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

(廣田委員) 地域には我々のように障害を持った方が生活している。何か災害が起こった時に避難所では我々をどう受け入れてもらえるのか。

今回の九都県市合同防災訓練では、千葉市身体障害者連合会もブースを設けて、障害を持った人を避難所にどのように連れていくかという誘導の訓練を行った。まず、目隠しをした参加者に、スロープや段差、倒木等の障害物を設置したコースを歩いてもらった。次に、同じコースを障害当事者の方を誘導して歩いてもらった。今回の企画は、我々のような障害を持った方が地域で生活していて、いっしょに避難しなければならない状況があるということを頭に浮かべてもらいという思いで実施した。

また、聴覚障害の方々が健常者の方といっしょに非常食を作るという訓練をした。しかし、お互いコミュニケーションをうまく取ることができず、障害者は障害者だけの訓練になってしまい、健常者の方といっしょになって訓練をすることが出来なかったという反省があった。同じ会場でいっしょに訓練するのであれば、いっしょにやれる手段が何かほしいという意見が出ていた。

(岡本委員長) 次号の「みどりのきずな」で各地区の防災に対する取り組みの記事を掲載してもいいのではないかと思う。

このあとは、地区ごとに集まってワーキングを行っていただく。各地区においては、資料5「緑区支え合いのまち推進計画(平成30~32年度)」(案)のどれを重点目標としていくかを話し合っただきたい。

※このあと、各地区に分かれてグループワークを行い、各地区の重点取

組項目について話し合いを行った。

※次回は12月9日（土）14：00～開催。

事務局が閉会を宣し、第2回緑区支え合いのまち推進協議会は散会。

※終了後は広報委員が集まり、広報部会を実施